



2023年11月30日

各 位

会社名 株式会社 カチタス
代表者名 代表取締役社長 新井 健資
(コード番号：8919 東証プライム)
問合せ先 取締役管理本部長 横田 和仁
(TEL 03-5542-3882)

当社取組みの社会的インパクトへの評価にかかる第三者意見書の取得について

当社は、2023年11月24日付「シンジケートローン契約の締結及び営業外費用の計上に関するお知らせ」の通り、株式会社みずほ銀行をアレンジャーとするシンジケートローンによる金銭消費貸借契約（以下、「本契約」という。）を締結しております。本契約につき、当社取組みの社会的インパクトへの評価にかかる第三者意見書を株式会社日本格付研究所より取得いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の取組みについて

当社は「この街に、ひとつでも多くの喜びを。」をパーパスとして掲げ、主に地方の中古戸建を買い取り、リフォームにより再生して販売する中古住宅再生事業を営んでおります。この事業を通じて、事業活動に伴う社会的責任やSDGs達成へ向けた貢献を強く意識し、環境・社会・ガバナンス（ESG）に関連する重要課題（マテリアリティ）を特定し、事業活動を通じた取組みを推進しております。

2. 第三者意見書の取得について

当社のこれらのマテリアリティへの取組みを中心に、特にSDGsの目標達成に対しインパクトを与える活動として、別紙記載のテーマについて定性的・定量的な評価をみずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社に実施いただきました。

また、株式会社日本格付研究所から本件評価にかかるポジティブ・インパクト金融原則（※1）への適合性、および環境省のESG金融ハイレベル・パネル設置要綱第2項(4)に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースが纏めた「インパクトファイナンスの基本的考え方」との整合性についての第三者意見書を取得しています。

取組みの進捗および成果は、統合報告書やウェブサイトなどによって開示する予定です。当社は今後も引き続き、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上

【ご参考】

※1：ポジティブ・インパクト金融原則

国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）（※2）の銀行および投資メンバーであるポジティブ・インパクト・ワーキンググループが2017年に発表したSDGs達成に向けた金融の共通枠組みであり、持続可能な開発の3側面（環境・社会・経済）について、ポジティブ・ネガティブの両面からインパクト評価を行う包括的内容となっている。また、UNEP FIはインパクト特定のツールとして、気候、水、エネルギー、生物多様性、文化・伝統等22のカテゴリーからなるインパクトレーダーを提示している。

※2：国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）

1992年の地球サミットに続き、持続可能な金融を推進する目的で設立された、国連環境計画とグローバル金融セクターとのパートナーシップ

※ みずほ銀行 リリース www.mizuhobank.co.jp/index.html

本日発表「株式会社カチタスに対する『Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス』の実行について」

※ 株式会社日本格付研究所のウェブサイト <https://www.jcr.co.jp/>

インパクト	KPI	SDGs	
		目標	ターゲット
住居 [ネガティブ]	年間販売件数	 11 住み続けられるまちづくりを	11.1 2030年までに、すべての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。
	仕入物件の空き家比率		11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。
		 17 パートナーシップで目標を達成しよう	17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。
雇用 [ネガティブ]	従業員の労働災害発生率	 8 働きがいも経済成長も	8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。
	離職率		8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。
資源効率・安全性 [ネガティブ]	断熱効率向上に関わる取り組み	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
		 12 つくる責任 つかう責任	12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
気候 [ネガティブ]	温室効果ガス排出量（スコープ3）の算出、（連結） 温室効果ガス排出削減目標・計画の設定（スコープ1、2、3）（連結）、 温室効果ガス排出削減目標・計画に沿った取り組み（スコープ1、2、3）（連結）	 13 気候変動に具体的な対策を	13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

インパクト	KPI	SDGs	
		目標	ターゲット
廃棄物 [ネガティブ]	紙使用量の把握、 紙使用量削減に向けた 取り組みの検討・推進		12. 2 2030 年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。 12. 5 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
			15. 2 2020 年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。
雇用・包括的で健全な経済 [ポジティブ]	管理職登用者に占める女性比率		5. 5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。
住居・包括的で健全な経済 [ポジティブ]	住宅ローン年収倍率		11. 1 2030 年までに、すべての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。
経済収束 [ポジティブ]	地域の工務店への発注件数		10. 2 2030 年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。